

鳥取市民アンケート調査の結果概要について

1 調査のあらまし

市民の日常生活における満足度を把握し、第9次総合計画の事業の進捗状況、課題、効果を検証し、今後の事業、第10次総合計画策定の基礎的資料として活用することを目的として、住民基本台帳より無作為に抽出し、下記のとおり市民アンケート調査を実施しました。

【調査対象】15歳以上の市民

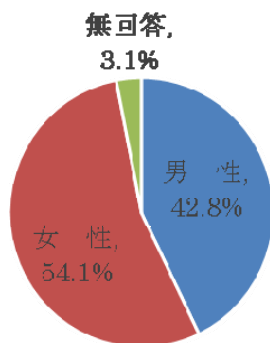
【送付数】4,000人

【調査方法】郵送による配布・回収

【調査期間】平成26年12月4日（木）～平成26年12月19日（金）

【アンケート回答者数】:2,050人(回答率 51.3%)※平成21年度実施:2,298人(回答率 57.5%)

男女比

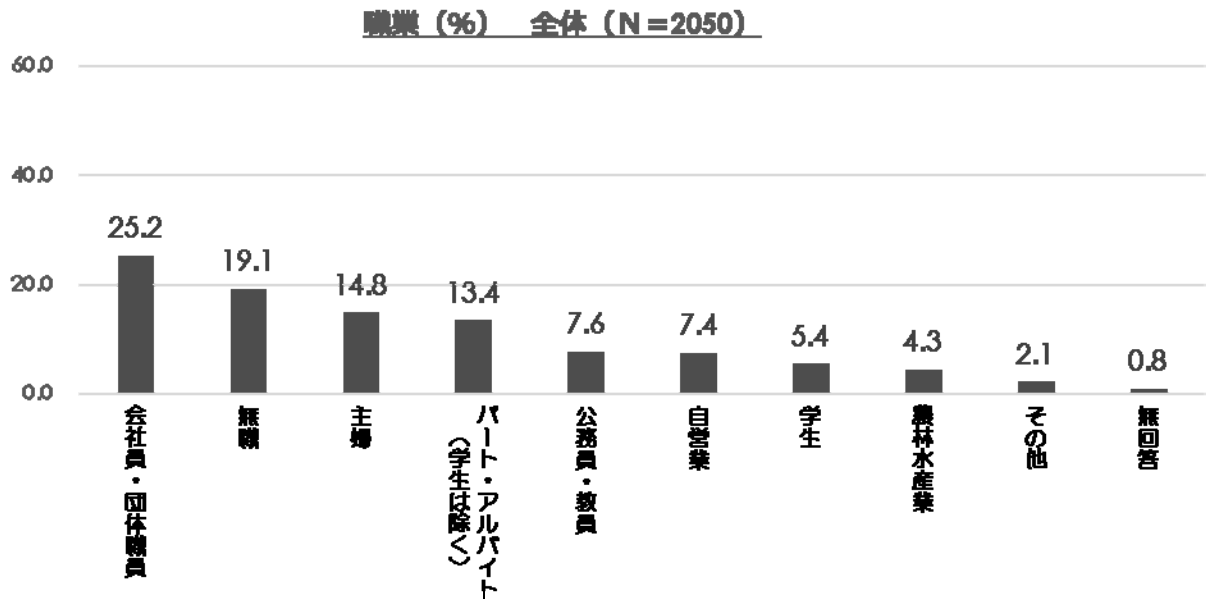


年齢構成

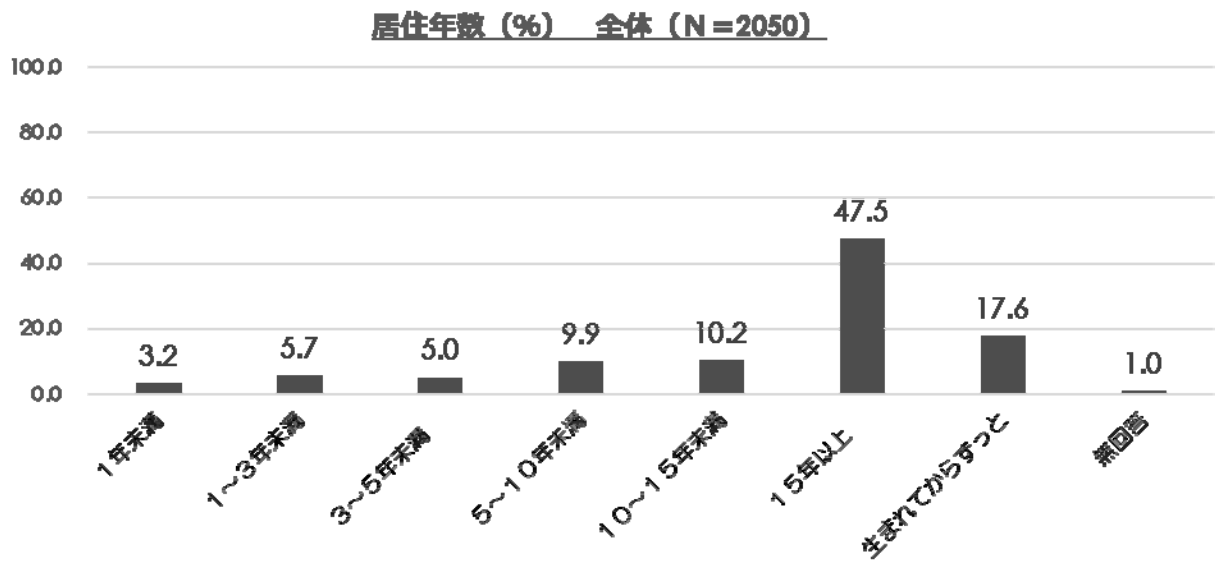
年齢別構成比 (%) 性別 全体 (N=2050)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
全体 (N=2050)	4.0	7.2	12.9	14.6	17.7	25.0	17.7	0.9
男性 (n=878)	5.0	8.1	14.0	13.7	15.8	27.1	15.9	0.3
女性 (n=1109)	3.4	6.9	12.5	16.0	19.7	23.3	17.8	0.5
無回答 (n=63)	3.2	4.8	9.5	25.4	39.7		17.5	

職業



居住年数



【現在地での永住希望についての質問】

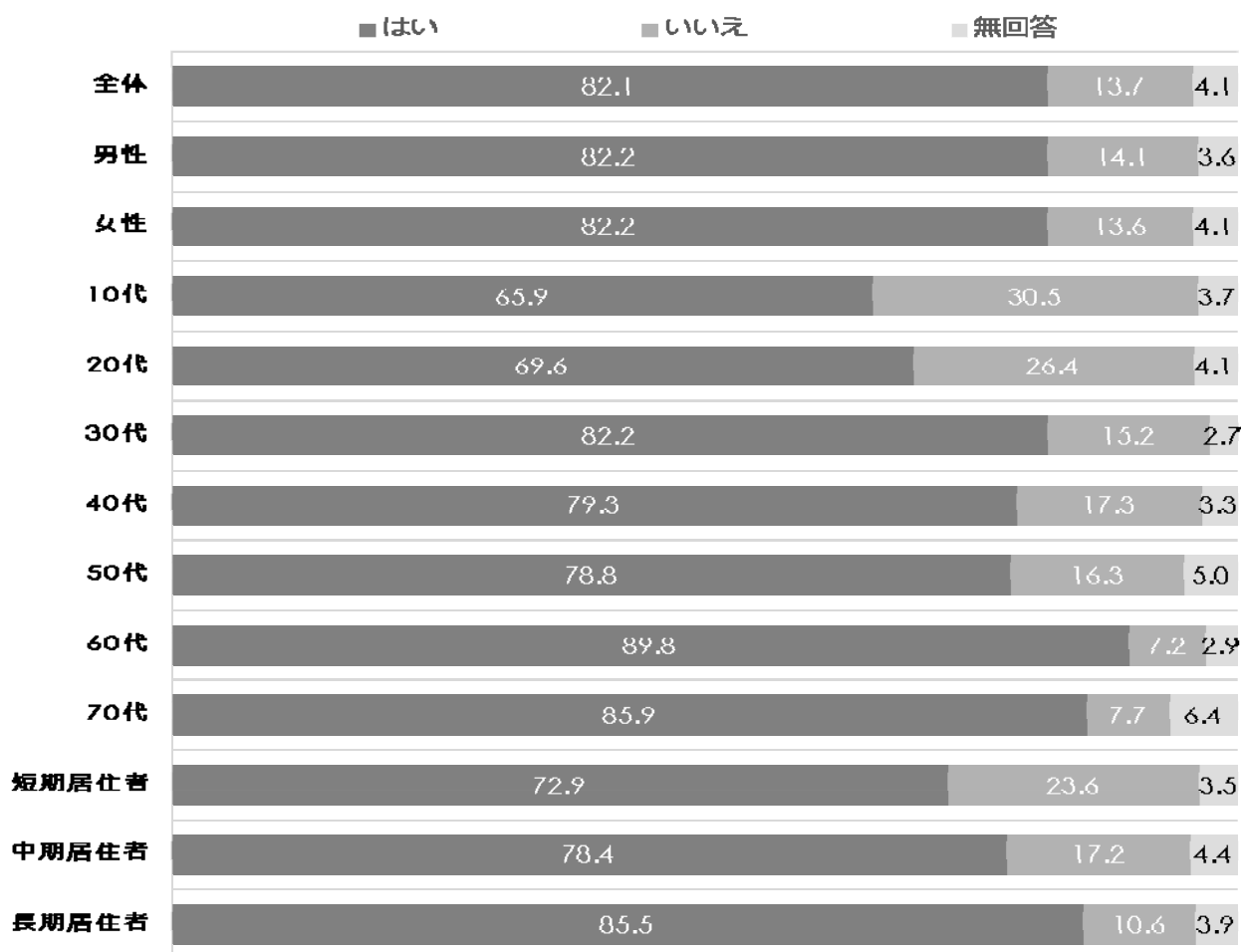
◇現住地永住希望は、全体では「はい（住み続けたい）」が 8 割（82.1%）を占めている。前回（79.1%）に比べ 3%増加している。

◇性別では大きな傾向差はみられないが、年齢別では、10～20 歳代において他の年代に比べ「いいえ」が多い。また、60 歳代では約 9 割（89.8%）で「はい」となった。

◇居住期間別では、居住期間が長くなるにつれ「はい」が多くなる傾向がみられる。

◇全体としては、前回の傾向と大きな差異はない。

現在地永住希望（%）性別・年齢別・居住年数別 全体（N=2050）



【地域の住みやすさの満足度についての設問】

「満足」と「やや満足」の上位5位は、

- | | |
|-------------------------|--------|
| ①「山、川、海などの自然環境について」 | (前回1位) |
| ②「公共下水等の生活雑排水処理について」 | (前回3位) |
| ③「ごみの分別、リサイクル活動の推進について」 | (前回5位) |
| ③「近所の人の親切さや人情について」 | (前回2位) |
| ⑤「騒音、悪臭などの公害発生」 | (前回4位) |

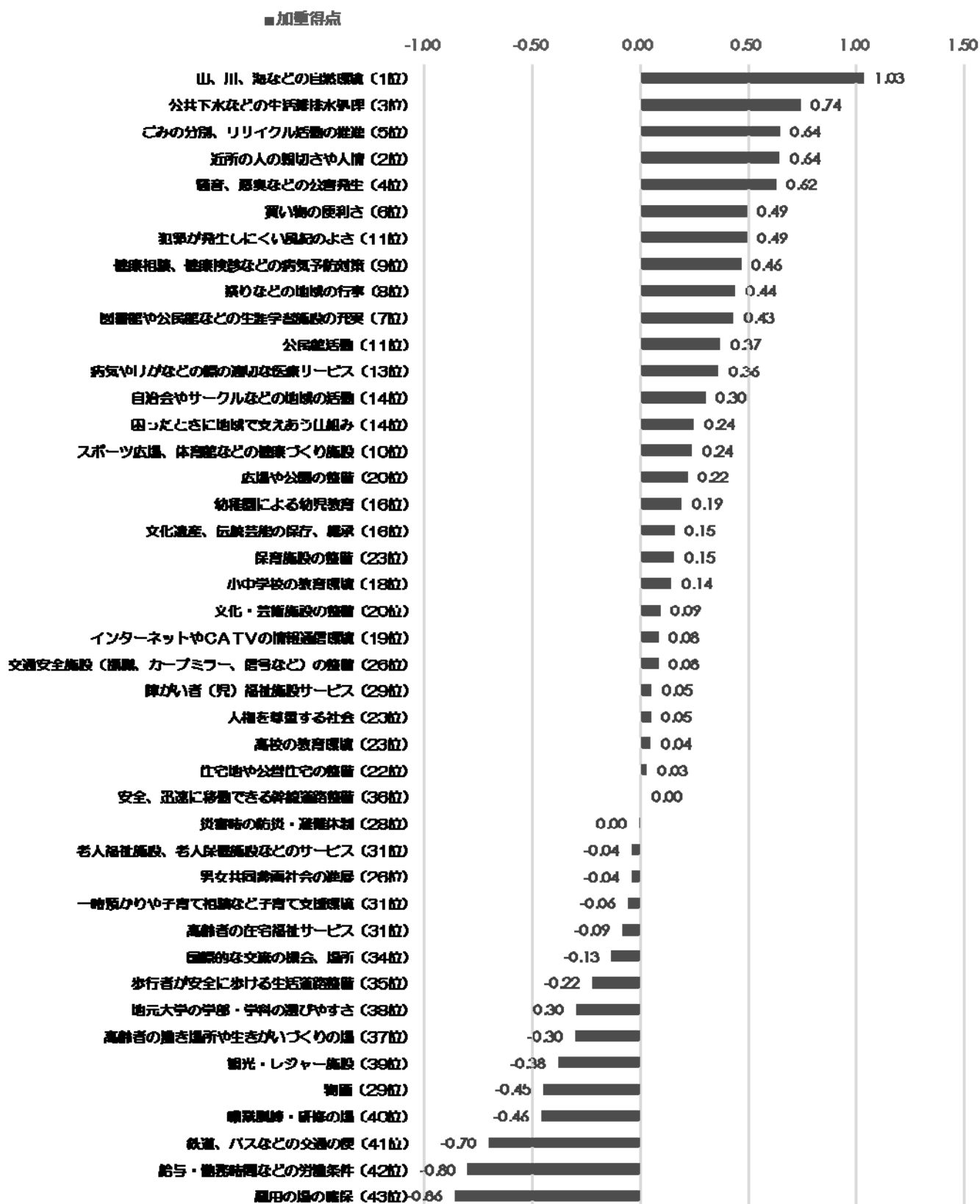
○前回調査時と比較し、順位の入替わりはあるものの、大きな変化は見られない。

「不満」「やや不満」の上位5位は、

- | | |
|-----------------------|---------|
| ①「雇用の場の確保について」 | (前回1位) |
| ②「給与・勤務時間などの労働条件について」 | (前回2位) |
| ③「鉄道、バスなどの交通の便について」 | (前回3位) |
| ④「職業訓練・研修の場」 | (前回4位) |
| ⑤「物価」 | (前回14位) |

○不満な点について、雇用の場や労働条件に対する不満は減ったものの、消費税増税に伴うと思われる物価に対する不満が前回から大きく順位を上げている。

地域の住みやすさについての満足度（加重平均得点）全体（N=2050）



※上記グラフは、「満足」～「不満」の回答を加重平均して算出した数値を示したもので、0.0 を起点に+（プラス）が好評価（満足・まあ満足の評価が相対的に高い）、-（マイナス）が相対的低評価（やや不満・不満）に振れていることを示し、一目で好評価と低評価がわかるように表したものを示す。
 ※各項目のカッコ書きの順位は、平成21年に実施した際のもの

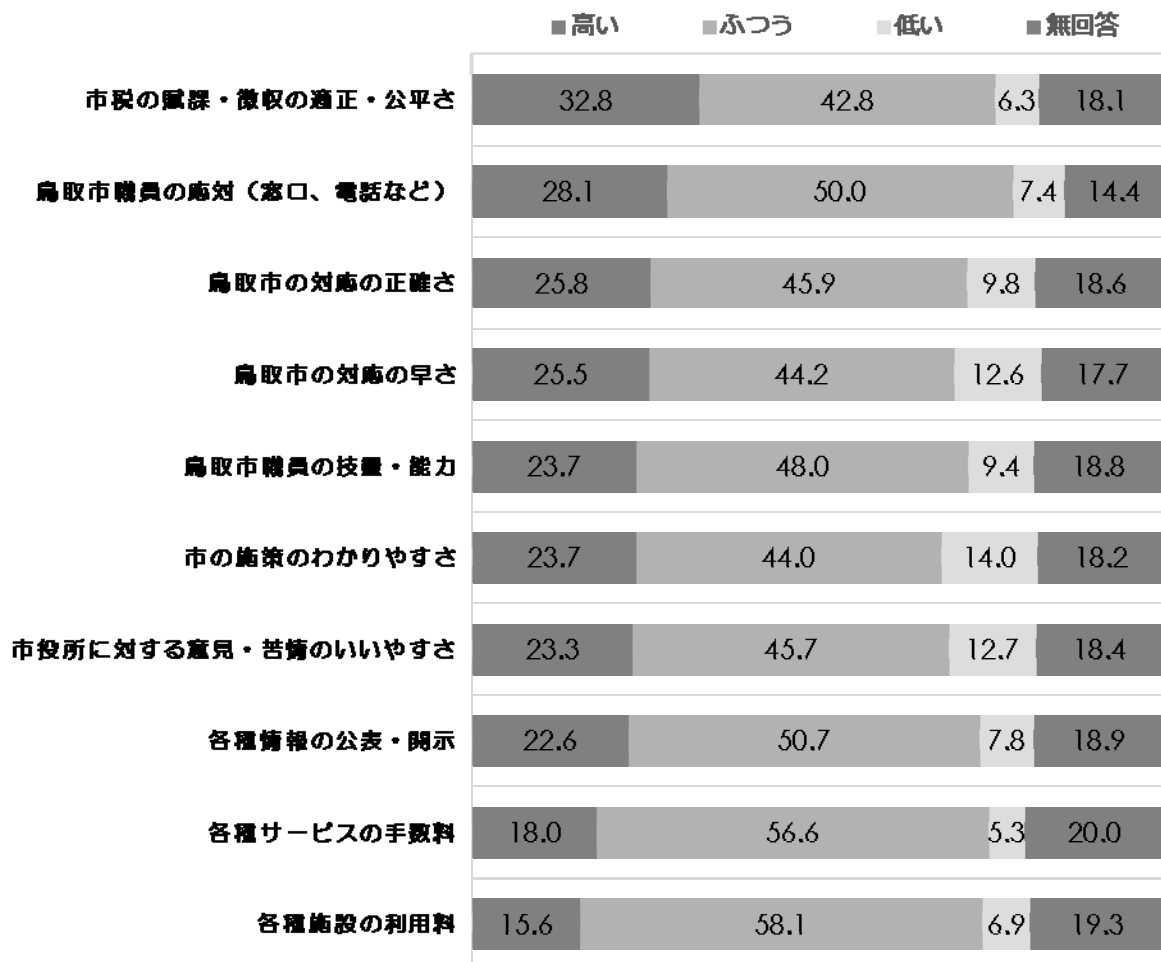
【市民が重要と考える市のサービスについての設問】

◇鳥取市の市民サービスについての「重要度」について、「高い」の回答数の上位3位は、

- ①「市税の賦課・徴収の適正・公平さ」 32.8% (前回1位、34.5%)
- ②「鳥取市職員の応対(窓口、電話など)」 28.1% (前回3位、30.5%)
- ③「鳥取市の対応の正確さについて」 25.8% (前回2位、30.8%)

○おおむね、前回調査と同じ傾向となっている。

鳥取市の市民サービスについての重要度(%) 全体(N=2050)



【鳥取市が目指すべき将来の都市像についての設問】

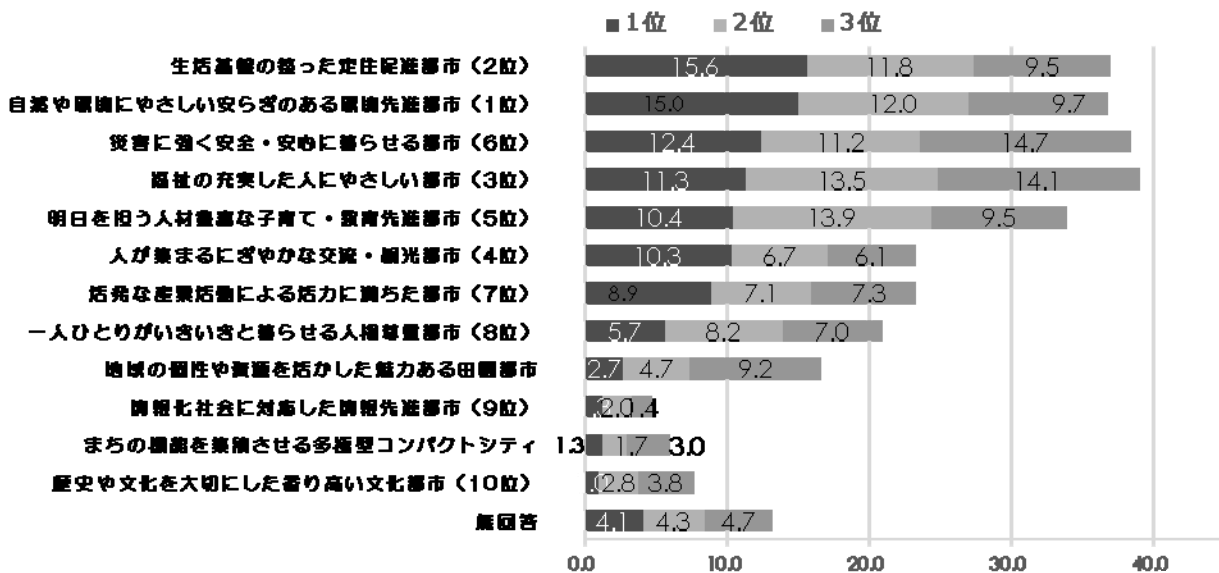
◇鳥取市が目指すべき将来の都市像について、「第1位」の回答は

- ①「生活基盤の整った定住促進都市」 15.6% (前回2位、16.6%)
 - ②「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」 15.0% (前回1位、18.4%)
 - ③「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」 12.4% (前回6位、9.5%)
- 前回結果に比べ、「安心・安全」な都市を目指すべきと考える人が増えている。

◇第1位から第3位までの合計が最も多いものは

- ①「福祉の充実した人にやさしい都市」 39.0% (前回1位、45.3%)
 - ②「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」 38.3% (前回4位、34.9%)
 - ③「生活基盤の整った定住促進都市」 36.9% (前回3位、39.4%)
- 第1位の回答と同様、「安心・安全」な都市を目指すべきと考える人が増えている。

鳥取市が目指すべき将来の都市像 (%) 全体 (N=2050)



※各項目のかっこ書きの順位は、平成21年に実施した際の1位のもの（順位のないものは新規項目）

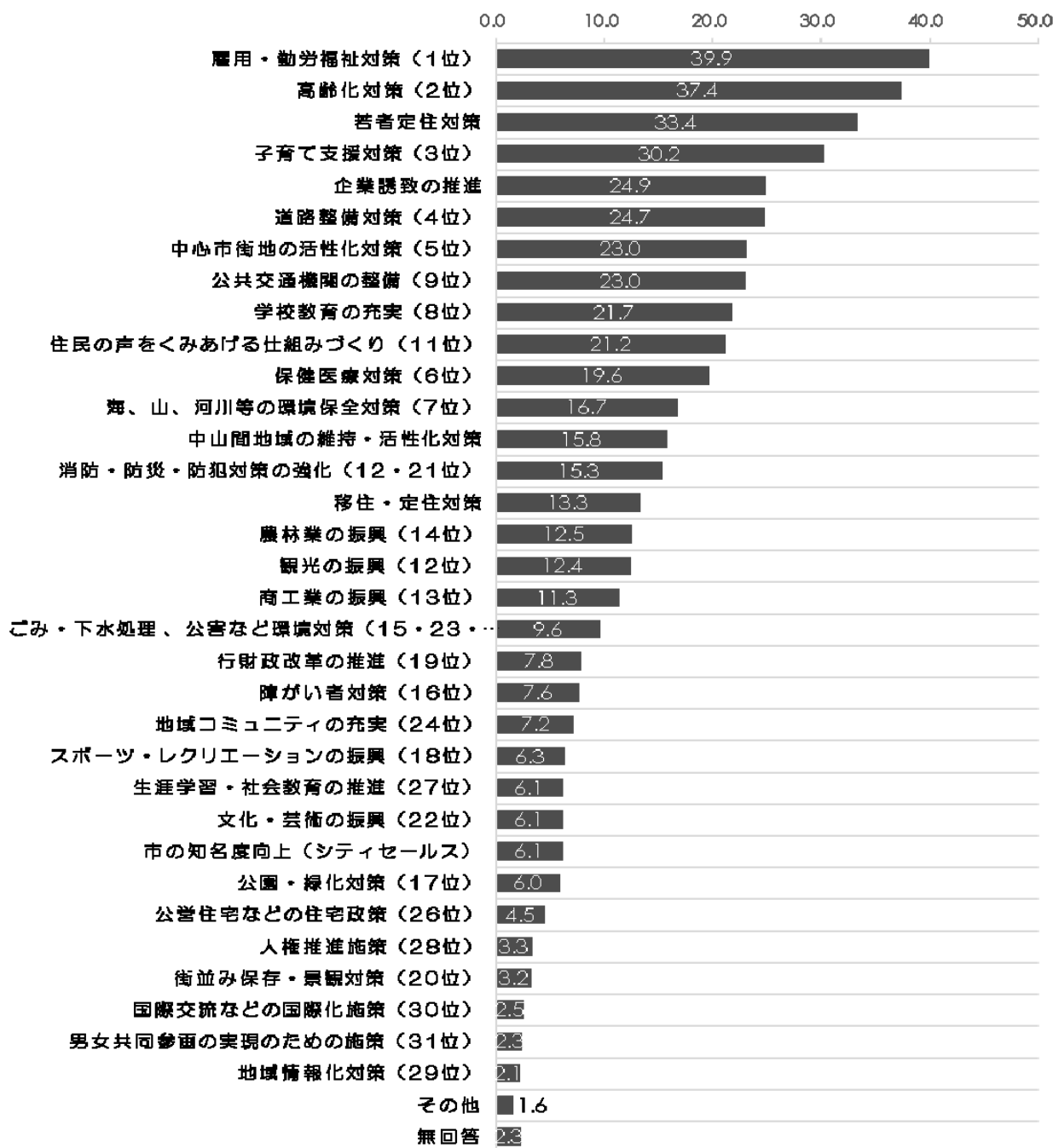
【鳥取市が優先すべき施策についての設問】

◇優先すべき施策については

- ①「雇用・勤労福祉対策」 39.9%（前回 1 位、47.0%）
- ②「高齢化対策」 37.4%（前回 2 位、42.6%）
- ③「若者定住対策」 33.4%（前回項目なし）

○前回同様、「雇用」「高齢化」「子育て支援」への対策を優先すべきとの声が多い。また、今回新たに項目とした「若者定住対策」についても 3 位となり、優先度がかなり高いことが見てとれる。

優先すべき施策（%） 全体（N=2050）



※各項目のかっこ書きの順位は、平成21年に実施した際のもの（順位のないものは新規項目）
 ※複数の順位が記載されているものは、今回の調査で内容をまとめたもの

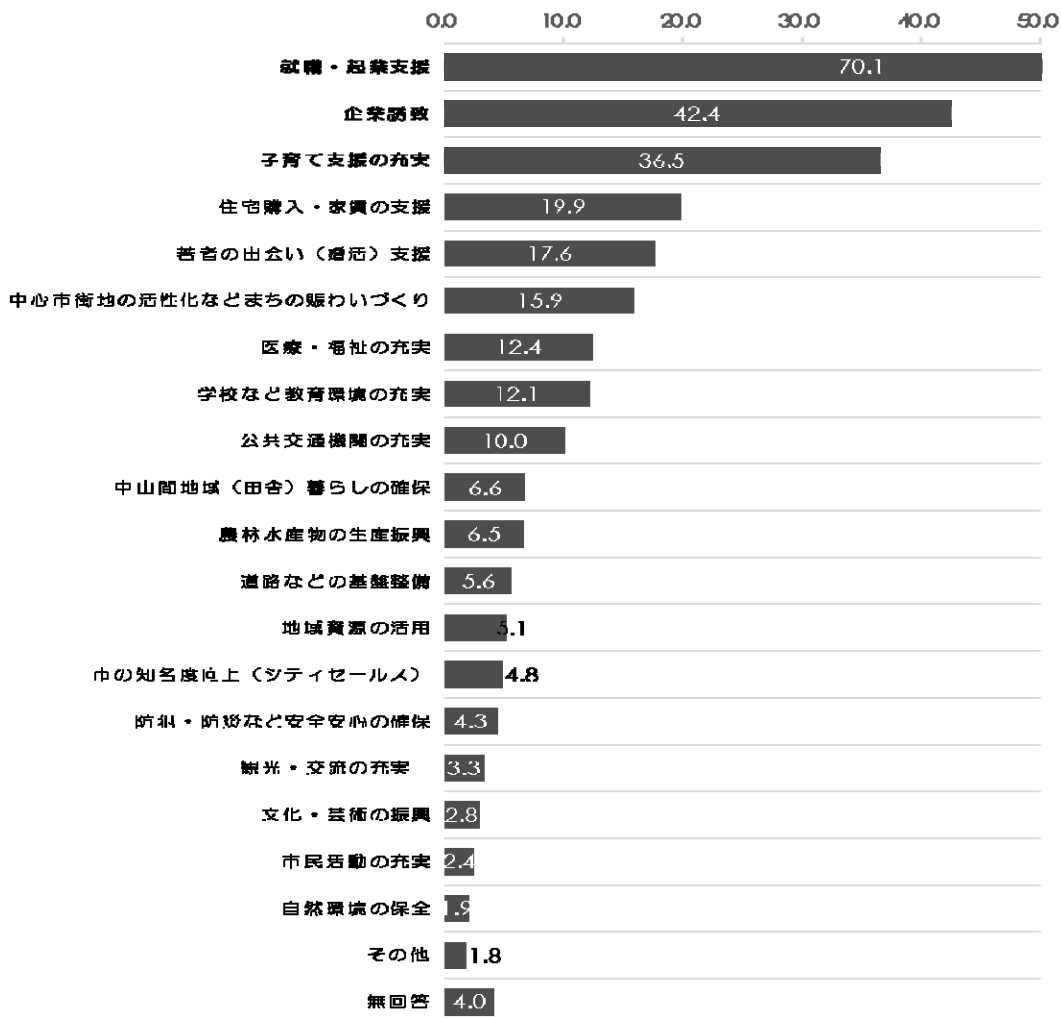
〔若者定住の取り組みについての設問（新規質問項目）〕

◇若者定住対策の取り組みについては

- ①「就職・起業支援」 70.1%
- ②「企業誘致」 42.4%
- ③「子育て支援の充実」 36.5%
- ④「住宅購入・家賃の支援」 19.9%
- ⑤「若者の出会い（婚活）支援」 17.6%

○いずれも、働く場の確保・子育て支援・住む場所の確保・出会い支援と、生活全般にわたっての取り組みが必要と考える人が多い。

若者定住対策の取り組みについて（%） 全体（N=2050）



【まとめ】

- 前回の調査に比べ、「安全・安心」に関することを優先する市民が増えている。なんといっても生命の安全が第一に優先されることが大切であり、それに沿った施策が必要となってくると考えられる。
- 若者の定住に対する市民の意識も高まりを見せている。若者が暮らしやすいまちづくりのための施策が必要となると考えられる。